

事務事業名		ほいほい介護予防事業(旧二次予防事業)			会計	介護保険		事業種別			開始	18	終了	
課等名		介護高齢課		係等名	基幹包括支援センター									
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			施策	35	高齢者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	・65歳以上で要支援・要介護状態となるおそれの高い高齢者(二次予防高齢者)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	介護予防のサービスを受けることにより、要介護状態にならず健康で生き生きとした在宅生活を送る。				二次予防高齢者(人)			1780					
	向上させたい上位施策の成果指標	安心していきいき暮らせている高齢者の割合												
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	参加者が事業終了後に要支援・要介護にならなかった割合 %			90	91	90							
	成果指標	二次予防高齢者介護予防事業参加者数/二次予防高齢者人口 %			15	19	15							
	定性目標													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次予防高齢者に対し地域包括支援センターのプランに基づいた通所型の予防教室を実施する。内容は運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等のプログラムを週1回で3カ月法人等に委託して実施する。また認知症予防支援プログラムを月2回6カ月実施する。</li> <li>・口腔機能の向上プログラムとして歯科衛生士による訪問歯科指導や栄養改善の必要な二次予防高齢者に対し訪問型のサービスとして栄養士による指導と配食サービスを行う。</li> <li>・介護予防事業について、実施前後にアセスメントを行い、生活機能向上の効果があつたかどうか評価する。</li> <li>・21年度より二次予防高齢者を把握するための二次予防高齢者生活機能評価事業を本事業に包含する</li> <li>・22年度より生活機能評価事業は必要な方のみとし、生活チェックリストのみの対象把握となる</li> </ul> ※国の「地域支援事業実施要綱」の改訂に伴い、22年8月から「特定高齢者」という名称は、「二次予防高齢者」に変更となった。													
	事業内容					名称				活動指標				
24年度事業内容	1 基本チェックリストの実施方法を拡大して、75歳以上郵送方式として、二次予防対象者の掘り起こしをはかる。 2 通所型介護予防教室を介護保険事業所・NPO法人等に委託し実施する。運動機能向上プログラム・認知症予防支援プログラムを拡大する 3 訪問型事業として、栄養士による栄養改善の指導と配食サービスの実施、歯科衛生士による口腔機能向上のための指導を行う。 4 二次予防高齢者介護予防事業修了者に対し送迎つきのフォローアップ教室を実施する 5 フォローアップ教室修了者に対して地域での継続的なフォロー体制を構築していく。					① 基本チェックリスト実施人数 ② 介護予防教室実施数と参加人数 ③ 二次予防高齢者栄養改善指導と配食サービス実施者数・訪問口腔ケア指導人数 ④ フォロー教室数と参加者数 ⑤ 地区の教室数				①2,985人 ②24教室・ 350人 ③2人 ④15教室・236人 ⑤6教室 122人				
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足							
	事業費計(千円)①		20,516	27,960	24,336	28,733	介護予防事業 国25% 県12.5% 市12.5% 1号19% 2号31% 21年度より 国25% 県12.5% 市12.5% 1号20% 2号30%							
	国庫支出金		5,129	6,990	6,084	7,183								
	県支出金		2,563	3,495	3,042	3,591								
	起債													
その他		6,153	8,108	7,057	8,332									
一般財源		6,671	9,367	8,153	9,627									
人件費計(千円)②		4,291		4,291										
正規職員所要時間		1,200		1,200										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		24,807	27,960	28,627	28,733									
事業内容・目標達成状況の振り返り	ほいほい呼ぼう教室から、フォロー教室地域での教室の流れができあがりつつあり、介護予防として教室参加が見込まれている。													
改革改善の考え方	①問題点	二次予防高齢者が、教室終了後続けて参加できる場所の確保。それを行わないとかわって介護保険を利用してデイ等の参加になってしまうことになりかねない。												
	②改革提案	教室参加後健康維持できる場所の確保												